

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292200126		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ 南柏		
所在地	千葉県柏市富里3-3-42		
自己評価作成日	平成22年1月6日	評価結果市町村受理日	平成22年4月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・定期的な研修やミーティングを開催し、常にケアサービスの質を向上させております。                  ・また、ホームは明るく、お客様の笑顔が溢れており、利用されているお客様からは、「ここはとても良い所よ」とおっしゃる方もいらっしゃいます。                  ・近隣の大型ショッピングセンターは、お買い物や生活リハビリに活かすことが出来、建物は、国道6号線近くにある為、来所時の利便性が高くなっております。</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kaigo.chibakenshakyu.com/kaigosip/Top.do">http://kaigo.chibakenshakyu.com/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成22年2月20日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「ニチイのほほえみ南柏」は、周辺に国道や大型ショッピングセンターがあり、利便性や交通アクセスに恵まれた環境にある。施設内は、全面バリアフリーとなっており、施設各所に呼び出しブザーが設置され、日当たりも良く、安全で快適な施設作りがなされている。施設方針として、接遇面の教育を徹底しており、入居者の尊厳を尊重したケアの実践に取り組んでいる。また、職員同士が互いに意見を言いやすい職場環境作りを進めており、明るく笑顔の絶えない施設作り職員全員で取り組んでいる。</p>
--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)		項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します	
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+Enter)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念：「高齢者の尊厳と自立を守る」を念頭に置き、日々のケアに取り組んでいる。	高齢者の尊厳と自立を守るという理念を掲げている。理念においては、新人研修等にて説明を行い、入居者の尊厳を尊重したサービスの実践に努めている。	新人研修や理念の掲示等にて、理念の確認を行っているが、今後は、会議・内部研修等にて、理念に立ち返る機会を設け、職員全員がより理念に基づくサービスの提供をできるような取り組みを期待します。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	御利用者様との散歩や買い物時などに挨拶を心掛けています。近隣の方は、お手洗いなども気軽に御利用されており、また見学なども随時受け付けております。	日頃から地域住民とは、挨拶を交わす関係が築かれている。地域の方がいつでも見学・来訪できるよう、開放的な施設作りがなされている。お祭りや餅つき大会等の地域行事には可能な限り参加しており、地域との交流を行っている。また、小・中学校の職場体験やヘルパー2級の実習生受け入れ等を実施しており、地域貢献にも努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会で行われる季節の行事には、利用者様の状態や希望に併せて参加できるように支援を行っている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は平成21年度において3ヶ月に1回開催しており、事業所の現状やサービス内容の報告相談、また今後における改善点の話し合いが行われ、建設的な意見を頂戴しております。	地域包括支援センター職員・町会長・入居者・家族・職員等を構成員として、3か月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告を行い、施設理解の促進に努めると共に、意見・情報交換を行い、サービスの質の向上に活用している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	市町村との連携 2010/2/20	グループホーム連絡会における会議や行事への参加の他、地域包括支援センター担当者との連携を行っております。	市の地域包括支援センターとは、業務・運営に関する相談や連絡等を随時行っており、密に連携を図っている。また、柏市グループホーム連絡会に加入しており、連絡会を通じて、市と意見・情報交換を行っており、協力体制が構築されている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設けており、虐待等に関する情報を共有しております。また、管理者は高齢者の権利擁護や身体拘束廃止研修基礎過程を修了しており、より正確な情報の共有に努めております。玄関の施錠に関しては、ご本人様ご家族様の要望や安全面に配慮した上で施錠管理を行っております。今後も自由に外へ出られるよう利用者様の気持ちに配慮し、環境を整えて行きます。	身体拘束排除における施設方針やマニュアル等を整備すると共に、研修を実施し、職員全員が身体拘束排除や虐待防止に関する知識や意義を理解している。玄関においては、日中は施錠していないが、施設周辺の環境・安全面を考慮して、ユニット間の鍵は施錠している。施錠においては、家族に説明をし、同意を得ている。また、入居者の希望に応じて、職員が付き添いにて外出し、入居者の自由な生活に配慮している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待防止関連法に関する研修などを通し得られた情報を定期ミーティングなどを通し、虐待0を維持できるよう情報の共有を図っている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部外部問わず各種研修の機会があれば希望者は学ぶ事が出来るよう支援相談を行っています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に基づき十分な説明を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の相談苦情の窓口に関して、契約書や重要事項説明書に記載しており、玄関にも掲示しております。	電話連絡時や面会時に家族の意見・要望等を確認している。挙がった意見・要望等においては、会議にて話し合い、適切な改善に努めると共に、報告書を作成し、職員全員へ周知しており、情報を共有している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的によりエリア別のセンター長会議が開催されております。また、ホーム内におけるホーム会議(ミーティング)を概ね月一回開催し、意見や提案を現場に反映できるよう努めております。	定期的に会議を開催しており、職員から意見や提案を確認する機会を設けている。また、年1回、個別面談を実施しており、職員の意見や思いの把握ができるよう工夫している。管理者やユニットリーダーが個別に職員の相談に乗る事もあり、意見が言いやすい環境作りに努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一定の期間努めた介護従事者に対し、面談、テスト等を実施し今後の課題を捉えながらも現状の実力に応じた給与加算(キャリアアップ制度)が実施されております。また、面談を通して得られた意見をホーム内の環境整備に活かして行けるよう努めております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修は希望者に受けられるよう随時対応を行っております。また、職員のスキルアップを目的とした段階的な育成や、働きながらトレーニングが進められるように、育成計画の作成を進めております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市グループホーム連絡会に加入しており、常に交流を行っている。また、定期的に勉強会や講習やスタッフ交流会が開催されています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前にアセスメントを行い、不安や要望、必要なケアや関わり方を傾聴し、ケアカンファレンスを通してケアの統一を行っています。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>内覧時や申し込み前にご家族の希望や問題点等を話し合っております。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>見学、相談時にご家族様と本人様の状況を確認し、ケアマネージャーや事業所内各所との相談を通し、入居に限らず本当に必要としているサービスが受けられるよう提案させて頂いております。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は介護や支援をするだけでなく、利用者の方とのコミュニケーションや共同生活を通し、利用者の方が持っている様々な能力から日々学び、気付かされております。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の方には、ヒアリングやモニタリングシートの記入を行っていただき、定期的なケアプランの作成から、ご家族様の協力の下、支援を行っております。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人様へのお届け物などは、お礼の連絡をご家族様や御本人様から相手方へ入れられるよう支援を続けております。また、利用者の方の馴染みの家具や食器などを御入居時に御用意して頂ける様お願いしております。</p>	<p>入居者の希望に応じて、馴染みの場所や店等に外出している。馴染みの友人・知人等の来訪や手紙のやりとりが行えるよう支援しており、馴染みの人との関係が継続できるよう配慮している。また、家族との外泊・外出は自由となっており、家族間の関係継続の支援も行っている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者の方を見つけられるよう支援を行い、交流場面を増やせるよう努めております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時の利用者様やご家族様の状態を鑑み、何らかの支援を必要とされる場合は、いつでも御連絡頂きますようお願いしております。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様やご家族様に御希望や以前の暮らしをお伺いし、職員で情報共有しております。	契約時に、本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認し、記録している。必要に応じて、他事業所や医療機関からの情報提供を受け、より詳細な情報の把握に努めている。また、日々の生活の中で確認した意向や心身の状態等を記録しており、常に新しい情報を職員全員が共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人様やご家族様とのヒアリングを通し、個別の生活状況にあわせてケアプランを作成しております。 また、アセスメントシートや面会時を通して、ご家族様からも情報提供いただいております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りにて、職員間で情報を共有し、ケアプランや実際のケアに活用をしています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングシートを通し、利用者様の目標とご家族様の要望を踏まえたカンファレンスを行い、ケアプランの作成に活かしております。	本人・家族の意向をもとに、介護計画を作成し、会議や申し送り等で職員間で意見交換しながら、本人の現状に即した介護計画の作成に努めている。定期的に目標の達成状況の確認や評価を行い、必要に応じて見直しを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録に残し、全スタッフが確認している。 また、毎日の申し送り以外にも別途ノートを使用し、全スタッフで情報の共有と介護計画の見直しに活用している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診の付き添いや嗜好品の買い物付き添い等、多角的に幅広く対応しております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターへの相談やボランティアさんの御協力を得ながら、地域の行事にも参加できるように努めております。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御本人様やご家族様の希望に沿った医師による医療が受けられるよう随時相談を承っております。	希望のかかりつけ医への受診が可能となっており、希望に応じて通院の付き添い支援を行っている。定期的に往診が実施されており、適切な医療支援が行われている。また、協力病院を設置しており、緊急時において、連携が取れるよう協力体制を構築している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在医療連携体制は取っておりませんが、今後医療連携体制が整うよう検討を重ねております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを病院へ提出し、概ね3日毎に面会に行き、担当医や看護師と話す機会を設け、退院計画、目標を家族と共有し連携をとっております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、ご家族様、本人様と十分に話し合い、その内容をホーム全体で共有し、終末期、看取りに関して取り組めるよう努めております。	終末期における方針を明文化しており、契約時に説明をしている。終末期や重度化した場合においては、家族や医療機関と話し合い、できる限りの支援が行えるよう体制を整えている。また、家族の意向に応じて、法人内の他事業所とも連携を図り、ニーズに合わせた支援が行えるよう体制を整えている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルが用意されており、全スタッフに周知されております。 また、全スタッフが普通救命講習を受けられるよう支援を行っております。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急マニュアルが用意されており、全スタッフに周知されております。 また、定期的に避難訓練を行っております。	災害時・緊急時マニュアル等を整備していると共に、通報器・火災報知器・消火器等を設置している。また、各階に2か所ずつ避難経路を確保されている。消防避難訓練の実施や消防署の研修会に参加しており、災害時等における対応を身に付けている。	消防避難訓練の実施や消防署の研修会の参加等を通じて、災害時・非常時の避難方法を職員に教育しているが、今後は、夜間帯等、様々なケースを想定した訓練や研修を実施し、災害時・非常時における対応方法をより深く身に付けて頂く為の取り組みを期待します。
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員に個人情報保護法を理解していただいている。 定期的に行われるミーティングを通し、日々の声かけや接遇に関する注意喚起を行い、利用者様の尊厳維持に努めております。	接遇マニュアルの整備や接遇研修の実施をしており、職員全員に接遇マナーの指導を徹底している。トイレのドアの内側にカーテンを設置し中が直接見えないよう工夫していると共に、同性介助を基本とする等、入居者のプライバシーに配慮している。また、居室には、鍵や収納スペースが設置されており、入居者のプライバシーの確保がなされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の暮らしの中で、利用者様の個々の状態に合わせて選択肢を提供するなど、自己決定がしやすいよう支援を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々自由にお過ごし頂けるよう、個々の生活のリズムに配慮した支援を中心にケアを行っております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様の状態や以前の暮らしを考慮しながら、今希望する身だしなみが整えられるよう支援しております。 美容においては定期的に訪問美容も利用し、本人様の希望に沿ったヘアスタイルを決めていただいております。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の状態や希望に併せた下ごしらえや調理、盛り付け、片付けをスタッフと共におこなっております。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から片付けまで共同で行っている。献立においては、入居者の希望を聞きながら職員が作成している。食材については、業者に配送してもらっている。また、レクリエーションや行事にて、特別食や手作りおやつ等を提供し、食の楽しみを支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に併せて食事形態を変えており、医師の指示に応じて塩分調整等実施しております。 また、水分や食事の摂取量を記録しており、バランスよく摂取が続けられるよう支援を行っております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを無理なく続けて頂く様促し支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々の記録の中から個々の排泄サイクルを捉え、気持ちに配慮した声かけ、誘導、支援を行っております。	排泄チェックリストを活用しながら、個々の排泄パターンを把握しており、声掛け・誘導にて、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、声掛け・誘導等においては、細心の注意を払い、入居者のプライバシーに配慮している。夜間においては、ポータブルトイレ等を活用し、適切な排泄支援を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々適度な運動をしながら便秘予防を行い、主治医と連携をとりながら情報の共有を行っております。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人に無理強いすることなく、希望する日時に入浴できるよう支援に努めております。	入浴においては、毎日実施しており、本人の希望に応じて回数等、柔軟に支援している。浴室には、エアコン・呼び出しブザーが設置されており、快適な入浴ができるよう設計されている。必要に応じて、清拭やシャワー浴を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、希望される時はお昼ねできるよう支援し、夕方からは場面転換を行い、安心して就寝できるよう支援を行っております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様一人一人が出来る限り御自分で正しく服用できるよう支援を行っております。また、服薬ファイルでの薬状周知や分封、3重チェックにて管理を行っております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味を活かせる場面、得意分野を見極めながら、役割、居場所等、力を発揮していただけるように支援を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	<p>日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人様の体調や気分に合わせて、買い物、散歩など季節感を感じられるよう支援を行っております。</p>	<p>日頃から入居者の希望や体調に応じて、買い物・散歩・ドライブ等の外出支援を行っている。毎月行事を企画・実施しており、季節に合わせた戸外活動を支援している。また、柏市グループホーム連絡会でも交流会や外出が実施されており、様々な人との楽しみの共有が図られている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様の協力と御理解を頂き、小額ですがお金をご自分で管理されている方がおります。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>個人で携帯電話を所有している方もおり、また、ホームの電話も自由に使用可能となっております。</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>眩しさを感じない照明で、テレビのボリュームも場面に合わせて調整しております。 また、快適な空間が保てるよう常時配慮を行っております。</p>	<p>施設は全面バリアフリーとなっており、ユニットが2フロアに分かれているが、エレベーターが設置されており、各階への行き来が気軽に行えるよう設計されている。リビングには、ソファやテーブルが設置されており、入居者が思い思いにくつろぐ事が可能となっている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間においては、自由に利用でき、できる限り個別の思いに配慮した場所で過ごせるよう支援を行っております。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を持ち込んでいただくよう御入居時をお願いしております。	希望に応じて、入居者の馴染みの家具等を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。全居室にエアコンが設置されており、適切な空調管理がなされていると共に、希望に応じて呼び出しプザーを設置する事が可能となっており、入居者の安全面に配慮している。また、鍵と収納スペースが設置されており、一人ひとりのプライバシーに配慮している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様が使いやすいように工夫された設計がされております。		